

東アフリカ, エチオピア地溝帯南部に分布する鮮新~更新統コンソ層の古地磁気層序 Magnetostatigraphy of the Plio-Pleistocene Konso Formation in the southern Main Ethiopian Rift, East Africa

加藤 茂弘^{1*}, 兵頭 政幸², ヨナス ベイエネ³, ブルハニ アスフォ⁴, 諏訪 元⁵
KATO, Shigehiro^{1*}, HYODO, Masayuki², Yonas Beyene³, Berhane Asfaw⁴, Gen Suwa⁵

¹ 兵庫県立人と自然の博物館, ² 神戸大学内海域環境教育研究センター, ³ 仏エチオピア研究センター, ⁴ リフトバレー研究センター, ⁵ 東京大学総合研究博物館

¹Museum of Nature and Human Activities, Hyogo, ²Research Center for Inland Seas, Kobe University, ³CFEE, Addis Ababa, Ethiopia, ⁴Rift Valley Research Service, ⁵The University Museum, the University of Tokyo

東アフリカ, エチオピア地溝帯南部に分布する鮮新~更新統のコンソ層は, オルドワン型からアシューリアン型の豊富な前期旧石器とともに, ホモ・エレクトスとボイセイ猿人の化石を含む多数の哺乳類化石を産する。コンソ層は, 挟在する30層以上の火山灰の⁴⁰Ar/³⁹Ar年代やコンソ南西に位置するオモ・トゥルカナ盆地の更新世火山灰との対比に基づいて, 約200~75万年前に堆積したと推定される。本層は堆積後のリフティングにより激しい断層変位を受けているが, 詳細な火山灰対比により露頭間の層序関係を確立できた。これら年代層序を確立した露頭において火山灰や細粒堆積物の古地磁気分析を行い, コンソ層中にオルドバイ正磁極亜期と松山-ブリュンヌ磁極期の境界を見出した。1.6 Ma前後の⁴⁰Ar/³⁹Ar年代を示す火山灰層の直下には, 短い正帯磁層準が確認された。この正帯磁層準は, ギルサ・イベントやステージ54イベントに対比される可能性が高い。コンソ層における3層準の古地磁気境界と1層準のイベントは, 東アフリカにおけるアシューリアン型石器の研究にとって重要な年代指標層となると期待される。

キーワード: エチオピア地溝帯, コンソ層, 古地磁気層序, テフラ層序, アシューリアン型石器

Keywords: Main Ethiopian Rift, Konso Formation, Magnetostatigraphy, Tephrostratigraphy, Acheulian lithic assemblages